

犯罪抑止の3要素

犯行 場面	犯罪抑止要素	物理的な要素（ハード面）	心理的な要素（ソフト面）
標的	<p style="text-align: center;">抵抗性</p> <p>犯罪者から加わる力を押し返す性質</p>	<p style="text-align: center;">恒常性</p> <p>一定していて変化しない状態 e.g. ロック、マーキング、 強化ガラス、防犯ブザー、非常ベル</p>	<p style="text-align: center;">管理意識</p> <p>望ましい状態を維持しようという意思 e.g. リスクマインド、指差確認、 整理整頓、健康管理、情報収集</p>
標的 の	<p style="text-align: center;">領域性</p> <p>犯罪者の力が及ばない範囲をはっきりさせる性質</p>	<p style="text-align: center;">区画性</p> <p>境界を設けて他から区別されている状態 e.g. ガードレール、フェンス、 ゲート、ハンブ、ゾーニング</p>	<p style="text-align: center;">縄張り意識</p> <p>犯罪者の侵入を許さないという意思 e.g. パトロール、民間交番、 防犯看板、受付記帳、パスポート</p>
周辺	<p style="text-align: center;">監視性</p> <p>犯罪者の行動を見張り、犯行対象を見守る性質</p>	<p style="text-align: center;">視認性</p> <p>周囲からの視線が犯罪者に届く状態 e.g. ガラス張り、植栽管理、 カメラ、ライト、ミラー</p>	<p style="text-align: center;">当事者意識</p> <p>主体的にかかわろうという意思 e.g. 清掃活動、あいさつ運動、一戸一灯運動、 花壇づくり運動、ボランティア活動</p>